

ほーむへるぷ

128

2026.8月

特定非営利活動法人 神奈川県ホームヘルプ協会

あたたかい心と手で、あなたの自立のお手伝い



もくじ

- | | | | |
|---------------------|----|-----------------|----|
| ● 2026年度のスタート | P2 | ● 全体研修 | P5 |
| ● 2026年度事業計画 | P3 | ● セミナーだより | P6 |
| ● キャッチフレーズ | P4 | ● ブランチだより | P7 |

2026 年度のスタート

5月17日に第42回通常総会を開催し、2025年度の事業報告と決算、そして2026年度の事業計画案と収支予算案の承認をいただき、2026年度がスタートいたしました。

2025年度は2事業所を閉鎖いたしましたが、各々の事業所では、管理者の大変な努力のおかげで、利用者の方々が継続して介護サービスの受けられるよう円滑な引継ぎが行われたほか、登録ヘルパーの活動の場も確保され、無事に事業所を閉じることができました。

一方で、事業所の閉鎖を機会に、本部体制の充実や補助金を活用したICT化の推進、助け合い事業の運営方法の統一化などを進めて、新しい協会体制の足固めに着手することも行いました。

2026年度は、コンパクトになった協会の体制を活かすべく、事業所と事務局との連携をより密なものにするとともに、様式の見直しなどの事務の改善を進めサービス活動時間の増加に取り組み、収入の確保に努めてまいります。

ただし、2024年度の介護保険料報酬のマイナス改定の影響は非常に大きく、新規の人材確保も困難な中、今年度の単年度収支も赤字の見込みを立てざるを得ない状況ですが「あたたかい心と手であなたの自立をお手伝い」という活動理念のもとに、当協会が目指す方向を職員と登録ヘルパー全員で思い描き、心をひとつにして、新しい時代に即したキャッチフレーズを作り、新たにスタートする機会にしたいと考えています。

(理事長 永井 雅子)

2025 年度 収支決算

収入の部		支出の部	
(単位：円)		(単位：円)	
科 目	決算額	科 目	決算額
介護保険・障害福祉事業	64,190,263	居宅介護事業	95,368,301
助け合い事業	2,365,100	助け合い事業	3,022,402
地域ふれあい事業・会費	116,900	地域ふれあい事業	277,678
その他	6,546,639	その他	12,116,949
当期収入合計 (A)	73,218,902	当期支出合計 (B)	110,785,330
		当期収支差額 (C) (C) = (A) - (B)	▲ 37,566,428
		積立金取崩額 (D)	32,000,000
		前期繰越収支差額 (E)	11,310,959
		次期繰越収支差額 (C) + (D) + (E)	5,744,531

2026年度 事業計画（主要な事業）

1

訪問介護事業

- 介護保険法に基づく訪問介護事業を実施する 年間 8,600 時間
- 障害者総合支援法に基づく居宅介護事業を実施する 年間 740 時間
- 介護予防・日常生活支援総合事業を実施する 年間 3,400 時間
- 研修事業
 - ① 全体研修 年 1 回
 - ② サービス提供責任者研修 年 2 回
 - ③ 事業所別研修 各事業所単位で「特定事業所加算Ⅱ」の要件を満たす研修を実施
 - ④ 登録時研修 新採用者を対象に、本協会の理念や介護職としての働き方等について学ぶ

2

助け合いホームヘルプ事業

- 会員制により相互扶助精神に基づくホームヘルプサービスを提供する
- 地域ふれあい事業として、地域のイベントへの参加と地域住民との交流を行う
- 神奈川県共同募金会配分金により「健康長寿社会づくり事業」を行う

3

その他

- 会報「ほーむへるぷ」の発行年 1 回
- 福利厚生事業等
 - ① 職員・ヘルパーの健康診断の実施（含む補助）
 - ② インフルエンザ予防接種補助
 - ③ 熱中症対策

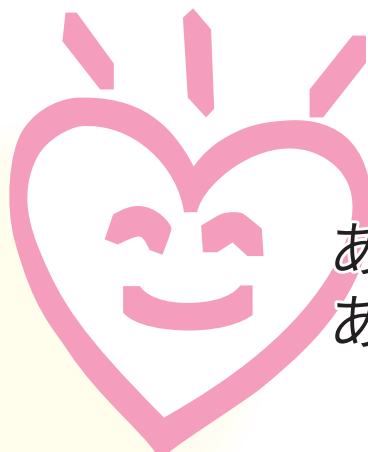


2026 年度 収支予算

収入の部 (単位：円)		支出の部 (単位：円)	
科 目	決算額	科 目	決算額
介護保険・障害福祉事業	60,662,000	居宅介護事業	72,973,000
助け合い事業	2,014,500	助け合い事業	2,120,000
地域ふれあい事業・会費	86,400	地域ふれあい事業	250,000
その他	2,290,000	その他	▲ 2,768,000
当期収入合計 (A)	65,052,900	当期支出合計 (B)	72,575,000
		当期収支差額 (C) (C) = (A) - (B)	▲ 7,522,100
		前期繰越収支差額 (D)	5,744,531
		次期繰越収支差額 (C) + (D)	▲ 1,777,569

協会のキャッチフレーズ 創りました！

限られた時間の中での
お付き合いですが、
ご利用者さんからも
かけがえのない大切なものを
いただいているのです♥



あなたの笑顔に
ありがとう

利用者さんの
笑顔が見たくて
「また、明日👏」

「(私がいるから)大丈夫！」
は魔法の言葉。
利用者さんの不安を
笑顔にしたい😊

当協会は、1975年に「ユーアイ協会」として発足してから半世紀、「あたたかい心と手であなたの自立をお手伝い」を合言葉に長寿を喜べる地域づくりを目指して活動してきました。

この度、活動50年を節目に、協会の理念を一言で表すキャッチフレーズを掲げ、心を新たに、これまで培った経験を活かしてこれからの地域ニーズに応じて活動していくことといたしました。

一人ひとりの利用者の尊厳を守り、寄り添い、これまでの生活を続けることを支え、そして明日への生きる糧となることを信じて活動してきた私達全員の思いを込めたキャッチフレーズです。

神奈川県ホームヘルプ協会理念

当協会は、各自が次の理念を目指して日々活動することを誓います

- 1 私たちは、利用者が、住み慣れた生活環境や生活リズム・習慣を変えることなく、できるだけ今まで通りの生活を継続できるよう支援します（生活の継続）
- 2 私たちは、利用者が、暮らし方・生き方を自分で決められるように支援し、その決定を尊重します（自己決定の尊重）
- 3 私たちは、利用者自らの能力を活かすように支援します（残存能力の活用）



「誤嚥性肺炎について学ぶ」

日時：令和7年10月11日（土）13:30～16:00

場所：藤沢商工会館 ミナパーク 502 会議室

講師：社会福祉法人 上村鵠生会 看護部長 川延 千恵 氏
管理栄養士 高橋 寿江 氏



健康の維持に欠かせない食事ですが、「自分の好みの食べ物を食べて幸せに生活する」ことができるよう、誤嚥性肺炎について講義していただきました。



川延講師からは、誤嚥とは、食べ物や飲み物、唾液などが気管に入ってしまうもので、① 食べ物や唾液を誤嚥して、② 肺に誤嚥した異物が入り、③ 肺が細菌に感染、炎症を起こし、その結果として誤嚥性肺炎を起こすもので、令和6年主な死因の4%を占め、80歳以上で多くなるとのことでした。

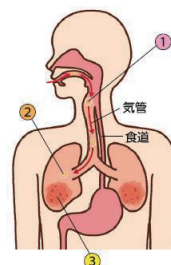
また、のどの構造と食物が口から胃に運ばれる一連の流れを図解していただき、嚥下障害が起きる原因の一つである「加齢」では、歯の欠損、筋力・反射の低下、唾液量の低下など

により、口腔機能が低下して心身機能も低下してしまうので、予防が大切とのお話がありました。

具体的には、飲み込む力をつけるための基礎訓練の方法や、食事前が有効な「パタカラ体操」、嚥下機能状態に合わせた食事形態の工夫（嚥下しやすい食べ物と嚥下しにくい食べ物）について講義をいただき、誤嚥した際に見られる症状も学びました。

※ パタカラ体操は、「パ」「タ」「カ」「ラ」の4文字を順番に発音することで、食べる・飲み込む機能（嚥下機能）や発音を改善する口腔体操です。

摂食嚥下障害の中で問題となるのが誤嚥

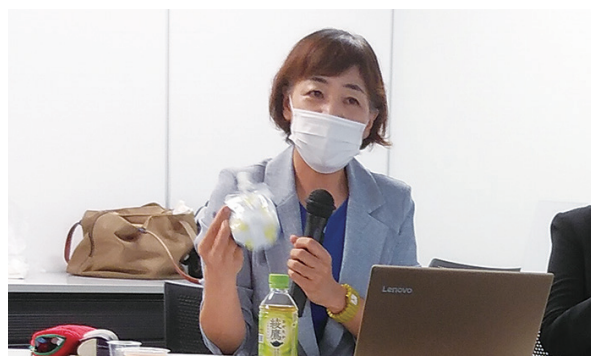
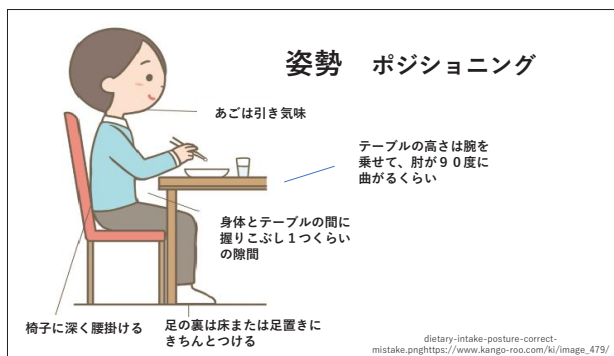


誤嚥とは食べ物や飲み物、唾液などが気管に入ってしまうこと

- ① 食べ物や唾液を誤嚥する
- ② 肺に誤嚥した異物が入る
- ③ 肺が細菌に感染、炎症を起こす

↓
誤嚥性肺炎

高橋講師からは、かかとを床につけて猫背にならない正しい食事姿勢と利用者支援にすぐに活かせるスプーンを使った食事介助の基本（スプーンの入れ方・ぬき方、のせる量）を受講者自身がプリンなどを実食して学びました。





自主セミナー

「介護福祉士の専門性」

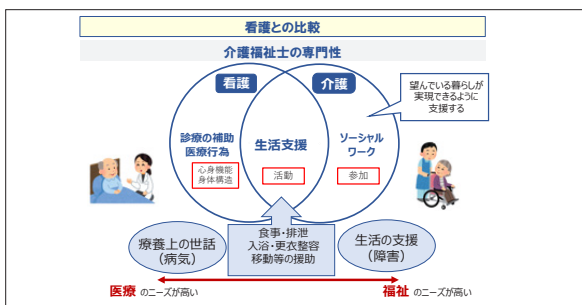
日時：令和7年11月8日（土）13:30～16:00

会場：神奈川県社会福祉センター 401 会議室

講師：認知症対応型グループホーム PAO 経堂

代表 北田 信一 氏

訪問介護の専門職として、あらためて介護の専門性とは何かを学び、業務に活かすことを目的に介護福祉士の専門性をテーマに講義をしていただきました。



訪問介護員が利用者と共に目指すものは、“利用者が望む実現可能な「最良の生活機能の状態」”であって、生活機能を構成する3つの要素「心身の状態、日々の生活行為、社会との関わり」それぞれに応じた支援を行い、利用者のQOLを向上させることを再確認しました。

受講者からは、利用者のライフスタイルを尊重し、利用者が社会と関わっていけるように支援できるのは在宅での生活が一番可能性があるのです。訪問介護の重要性をもっとアピールして、仲間を増やしたいという声が聞かれました。



自主セミナー

「介護支援専門員とサービス提供責任者との連携を学ぶ」

日時：令和8年1月17日（土）13:30～16:00

会場：藤沢市民会館 第3会議室

講師：藤沢市居宅介護支援事業所連絡協議会 中村 操 氏

利用者支援において一番基本となる、サービス提供責任者と居宅介護支援員との連携について、ケアマネジャーを講師にお招きし、実際に事業所であった事例を通していろいろなことを学びました。

講義では、ケアマネジャー業務の実情を教えてください、「利用者を支えるワンチームで行けたら」との言葉が胸に響き、信頼感が増しました。

また、ヘルパーに情報を伝える時は、サ責の判断を入れずに事実を伝え、ヘルパーとサ責が一緒に考えること、小さな気づきが大きな支援につな

がるので、報告・連絡・相談を疎かにせず、ヘルパーとの情報共有が重要であることを学びました。





心にほっこり、 コーヒーセミナー

令和7年6月14日(土) ① 14:00～② 15:15～
スターバックスコーヒー 海老名中央店



コーヒーの香りや味は、脳の活性化に効果があると言われていますが、コーヒーの楽しみ方を増すことができればその効果も倍増します。



そんな目的で企画したところ、大勢の方が参加され2部制で開催しました。

コーヒーの知識が広がり、同じ豆を使ってもお湯を注ぐ量やタイミングによって味が大きく変わることには驚き、また、コーヒーがゆっくりと抽出されていく時間を楽しむことは、「時間を買う」という贅沢でもあって、とても有意義な時間を過ごしました。(海老名萩の会)



年超す前に楽しもう バスツアー

日時: 令和7年11月9日(日)
9:00～16:30

会場: 御殿場アウトレット～
エビせんべいの里



アウトレットは初めて訪れた方も多くいらっしゃり、楽しい経験ができたと大好評でした。また、行く途中の高速で事故渋滞に巻き込まれ予定を大きく変更せざるをえませんでした。これもまた非日常的な経験として、変化にとんだ一日となりました。

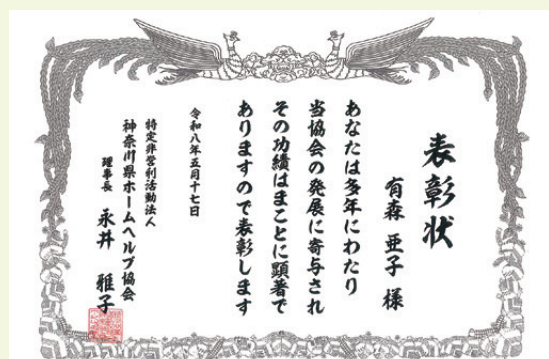
幹事は、突然のスケジュール調整で忙しく、皆さんの様子を写真に収める時間がなかったのが、施設の写真は、当日のものではありません。(涙)
(海老名萩の会)



永年活動表彰

Long Service Award

協会活動を15年以上続けられている方を表彰させていただいていますが、今年是有森 亜子様が受賞されました。おめでとうございます。



訪問介護 登録ヘルパー 募集!!

慣れるまで、サービス
提供責任者が指導します

- 仕事** ご利用者の自宅に訪問し、プランに沿った生活援助、身体介護等を行います（訪問介護・障害福祉サービス・保険外サービス等）
- 資格** 初任者研修終了（ヘルパー2級）以上
- 時間** 基本 8:00～18:00 曜日・時間希望 応相談
- 処遇** 時給 1,490 円＋活動実績評価給（20～100 円 / 1 時間）
（処遇改善手当、ベース UP 等支援加算を含む 2026 年度）
交通費・健康診断費（一部）支給、有給休暇の付与・人材確保報奨金あり
- 働き方** 直行直帰 OK・1 日 1 時間のお仕事でも可

お近くの事務所に
ご連絡ください

入会者募集中！（活動しながら資格もとれます）

資格をお持ちでなくても大丈夫!! 共に活動しませんか…

※各事業所又は本部まで、お気軽にお声掛けください。ご連絡お待ちしております。

事業所	ランチ
県央事業所 〒243-0405 海老名市国分南 1-2-16 チサンマンション海老名 503 Tel: 046-240-0887 Fax: 046-240-0838 Eメール: kenou2@kdp.biglobe.ne.jp	海老名萩の会
湘南事業所 〒251-0024 藤沢市鵠沼橋 1-3-11 フレックスハウス鵠沼 2-B Tel: 0466-54-5835 Fax: 0466-54-5836 Eメール: syonan@ksh.biglobe.ne.jp	藤沢ほ一むへるぷ



あなたの笑顔に
ありがとう

一人ひとりの利用者の尊厳を守り、寄り添い、これまでの生活を続けることを支え、そして明日への生きる糧となることを信じて活動してきた私達全員の思いを込めた協会のキャッチフレーズです。

今回の表紙は…



中村 さく 様の作品（県央事業所のご利用者様）

いつもいろいろな事に興味が有り、チャレンジ精神旺盛な方で、表紙の協力をお願いしたら、モールで作ったあじさい、和紙と紐で作った人形、毛糸で作ったリースなど、たくさんの作品を提供していただきました。

今回はその中から、色画用紙で作ったあじさいを選ばせていただきました。とにかくお元気で、友人も多く、カラオケなどを楽しむほか、気になることがあると直ぐに質問される前向きな姿勢は学びたいと思う方です。

編集後記

サッカーワールドカップ 2026 で、SAMURAI BLUE（日本代表）は強豪のブラジルに惜しくも負けてしまいましたが、森保監督の感謝を伝える時の笑顔がとても印象に残りました。あの笑顔はどこから生まれるのでしょうか。結果は伴わなくとも、全力を出し切った満足感が、笑顔になっているのでしょうか。

当協会のキャッチフレーズ「あなたの笑顔にありがとう」が、地域に広がる日をめざして、がんばります。（徳竹）

神奈川県ホームヘルプ協会・本部

〒221-0825 横浜市神奈川区反町 3 丁目 17-2
神奈川県社会福祉センター 5 階

Tel: 045-322-2008 Fax: 045-322-2028

<http://www.care-net.biz/14/homehelp/>